令和２年度沖縄県伝統芸能公演 かりゆし芸能公演

# 公募要領

## 国立劇場おきなわ公演

## 移動かりゆし芸能公演

## 子ども×伝統芸能公演


◆申請の流れ ・・・P.1

◆かりゆし芸能公演事業の概要 ・・・P.2

1. 補助メニューと補助金額
2. 補助対象者（申請団体）の要件
3. 補助対象となる事業
4. 補助対象とならない事業・組織等
5. 審査の基準について
6. 申請受付期間
7. 申請時の提出書類
8. その他

【募集要項】

◆「国立劇場おきなわ公演」 ・・・P.6

◆別紙　公演実施の候補日一覧 ・・・P.9

◆「移動かりゆし芸能公演」 ・・・P.10

◆「子ども×伝統芸能公演」 ・・・P.12

◆補助対象経費・補助対象外経費 ・・・P.14

◆交付決定後のお願いと注意点 ・・・P.15

◆Q&A ・・・P.16

◆様式集・記入例 ・・・P.17


**募集期間**

2019年12月6日(金)

～2020年1月31日(金)

17:00【必着】


≪問い合わせ先≫

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831-1

沖縄産業支援センター6階 605号

公益財団法人沖縄県文化振興会 かりゆし芸能公演担当

［T　E　L］098-987-0926

［F　A　X］098-987-0928

［M A I L］kariyushi@okicul-pr.jp

# 申請の流れ

| | | |
|---|---|---|
| ①補助金交付申請書の提出 | （申請団体→振興会） | 所定の期間内に「補助金交付申請書」および必要資料（P.5 参照）を振興会あてに提出してください |
| ▼ | | |
| ②選定委員会による審査 | （振興会） | 申請書の内容をもとに、振興会が設置する選定委員会による審査を行います。 |
| ▼ | | |
| ③選定結果の通知 | （振興会→申請団体） | 上記の審査結果を申請団体あてに通知します。 |
| ▼ | | |
| ④公演の実施 | （申請団体） | 本公演の実施に向けた準備をしてください。なお、公演実施にあたっては別途注意点等があります。(P.14 参照) |
| ▼ | | |
| ⑤実績報告（公演終了後） | （申請団体→振興会） | 公演終了後 30 日以内に、所定様式の実績報告書および支出を証明する証憑書類（領収書等）を提出してください。 |
| ▼ | | |
| ⑥補助金額の確定 | （振興会→申請団体） | 実績報告書の内容を精査し、補助金額を確定します。変更や修正等の対応をお願いします。<br>**※決算額の減額等に伴い、補助金が減額となる場合があります。** |
| ▼ | | |
| ⑦補助金の交付請求 | （申請団体→振興会） | 補助金の確定通知を受けたのち、10 日以内に所定様式の補助金交付請求書を提出してください。 |
| ▼ | | |
| ⑧補助金の振込 | （振興会→申請団体） | 指定の振込先に補助金が振り込まれます。 |

# 沖縄県伝統芸能公演 かりゆし芸能公演の概要

沖縄県伝統芸能公演 かりゆし芸能公演は、県民及び観光客に伝統芸能の鑑賞機会を提供するほか、若手実演家の育成及び次世代を担う子どもたちが沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出することを目的に、（公財）沖縄県文化振興会（以下、振興会）が実施する補助事業です。

補助を受ける団体は、公演実施にあたり適切な経理処理等について、第三者に合理的に説明・立証する必要があります。その取り扱いに注意しつつ、補助事業に係る証拠書類を整理・保管するとともに、資金の収支額を明確にしてください。

## 1． 補助メニューと補助金額

補助金額は、補助対象経費から収入等を引いた額で、公演区分ごとに以下に定める額が上限となります。

| | 国立劇場おきなわ公演 | 移動かりゆし芸能公演 | 子ども×伝統芸能公演 |
|---|---|---|---|
| 目的 | 県民及び観光客に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに、40 歳以下の若手実演家の育成を図る | | 県民及び観光客に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに、次世代を担う子どもたちが沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出する |
| 補助メニューの概要 | 若手実演家の育成を目的に、国立劇場おきなわ（小劇場）で実施する伝統芸能公演を補助する | 若手実演家の育成を目的に、県内各地の会場で実施する伝統芸能公演を補助する | 次世代を担う主に 18 歳未満の子どもたちが沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出することを目的に、県内各地で実施する伝統芸能公演を補助する |
| 公演の主催者 | 振興会 | 申請団体 | 申請団体 |
| 公演日 | 振興会が設定した公演日枠の中から公演希望日を選択 | 申請団体が決定 | 申請団体が決定 |
| 公演会場 | 国立劇場おきなわ 小劇場 | 申請団体が決定<br>（沖縄県内に限る） | 申請団体が決定<br>（沖縄県内に限る） |
| 会場使用料負担 | 振興会 | 申請団体<br>※補助対象経費として計上可 | 申請団体<br>※補助対象経費として計上可 |
| 補助金額の上限 | 琉球舞踊･八重山舞踊<br>三線等音楽･沖縄民俗芸能 ・・・40 万円<br>組踊 ・・・55 万円<br>沖縄芝居 ・・・75 万円 | 琉球舞踊･八重山舞踊<br>三線等音楽･沖縄民俗芸能 ・・・50 万円<br>組踊 ・・・65 万円<br>沖縄芝居 ・・・85 万円 | 琉球舞踊･八重山舞踊<br>三線等音楽･沖縄民俗芸能 ・・・50 万円<br>組踊 ・・・65 万円<br>沖縄芝居 ・・・85 万円 |
| 募集要項 | P.6 参照 | P.10 参照 | P.12 参照 |

※各メニューの募集内容については、本手引き P.6 以降の各募集要項を必ずご覧ください。

※「移動かりゆし芸能公演」および「子ども×伝統芸能公演」は 2019 年度より実施している新たな補助メニューです。

２．補助対象者（申請団体）の要件

（１）沖縄県内に活動の本拠を有する団体であること。

（２）現に芸能活動を行っている団体であり、責任をもって制作実施ができること。

（３）代表者、所在地及び会計処理が明確であること。

（４）一定の活動実績があること。ただし、発足後間もない団体においては、今後の活動計画が定まっていること。

・法人格を有さない任意団体でも申請できます。
・学生の方も本事業に応募できますが、事業の申請（団体の代表者）は成人の方が行ってください。

３．補助対象となる事業

補助の対象となる事業（以下、補助対象事業）は、県内で実施される沖縄の伝統芸能公演の活動であり、以下の要件を満たす事業とします。各区分の詳細は、本手引き P.6 以降の各募集要項をご覧ください。

<table>
<tr><th>公演区分</th><th>要件</th></tr>
<tr><td>国立劇場<br>おきなわ公演<br><br>（P.6 参照）</td><td rowspan="2">・沖縄県内で実施される、伝統芸能の公演であること<br>※「国立劇場おきなわ公演」においては、国立劇場おきなわ小劇場で実施すること<br>※「移動かりゆし芸能公演」においては、申請団体が公演会場・日程を決定すること<br>・出演者の 5 割以上を若手（40 歳以下）で構成すること<br>・県内新聞社が主催する審査およびコンクールがある分野の公演においては、原則出演者の全員が、新人賞以上の賞歴があること ※子役等についてはその限りではない<br>・伝統芸能公演を初めて鑑賞する観光客や一般県民向けにプログラム構成等を工夫すること<br>例　・演目解説者を入れる<br>・演出的な工夫や伝統を踏まえた新しい取り組みを行う等<br>・沖縄芝居および組踊公演には、原則字幕を用意すること</td></tr>
<tr><td>移動かりゆし<br>芸能公演<br><br>（P.10 参照）</td></tr>
<tr><td>子ども×<br>伝統芸能公演<br><br>（P.12 参照）</td><td>・沖縄県内で実施される、伝統芸能の公演であること<br>※「子ども×伝統芸能公演」においては、申請団体が公演会場・日程を決定すること<br>・出演者の 2 割以上を 18 歳未満で構成すること<br>・子どもたちが、沖縄の伝統芸能に親しむことができるなど、理解促進・参加促進の取り組みがあること<br>例　・子どもが楽しめる伝統芸能体験ワークショップ<br>・鑑賞ポイントや魅力のわかりやすい説明等、見せ方に工夫のある取り組み<br>・即興組踊等の観客参加型の取り組み<br>・地域の伝統芸能等に関する講話等<br>・沖縄芝居および組踊公演には、原則字幕を用意すること</td></tr>
</table>

４．補助対象とならない事業・組織等

（１）地方公共団体が実施する活動および地方公共団体を構成員とする実行委員会の活動

（２）営利団体、政治団体、宗教団体等及びそれらに関係している団体の申請および活動

（３）専ら営利を目的とした公演

（４）その他、この事業による補助が適当でないと認められる活動

５．審査の基準について

審査にあたっては、主に以下の点を中心に選定委員会において総合的な評価を行います。

【事業内容】

- 本事業の目的に沿った内容となっているか
- 初めて伝統芸能公演を鑑賞する方や子どもたち等に向けて、プログラムや演出等に工夫があり、理解促進・参加促進につながる取り組みがみられるか
- 補助をするのにふさわしい内容であるか

【実現性】

- 実現可能な公演内容（プログラム構成等）になっているか
- 申請内容を確実に実施できる体制があるか（事務局体制等）
- 過去の活動実績があり、現在も継続的に活動している団体か

【経費】

- 適正な経費で実施される公演であるか
- 補助金が有効に活用される公演であるか

【事業効果】

- 本事業の目的・趣旨に合致した内容であり、本県の文化振興に寄与する事業であるか

各公演区分（国立劇場おきなわ公演・移動かりゆし芸能公演・子ども×伝統芸能公演）において、直近 2 カ年に連続して採択されている団体は、次の年度には選定しないこととします。（3 年連続での採択はしない）

６．申請受付期間

所定の期間内に補助金交付申請書類一式を振興会あてに提出してください。

| 区分 | 対象となる事業の実施期間 | 申請受付期間 |
|---|---|---|
| 国立劇場おきなわ公演（P.6 参照） | 交付決定日以降に開始し、<br>2021 年 2 月 28 日までに終了する公演 | 2019 年 12 月 6 日（金）<br>～2020 年 1 月 31 日（金）<br>17：00【必着】 |
| 移動かりゆし芸能公演（P.10 参照） | | |
| 子ども×伝統芸能公演（P.12 参照） | | |

※書類を持参する場合は、平日 9：00～17：00 受付。郵送の場合、締切日必着。

※申請受付期間内に振興会あてに届くように申請してください。

７．申請時の提出書類

（１）補助金交付申請書（様式第 1 号）および別紙（出演者一覧表）

（２）収支予算書

（３）団体概要書

（４）その他（団体会則・規約等）

※申請書は、原則 PC で作成してください。

※公演に際し必要となるため、**必ず申請担当者のメールアドレス**を明記してください。

※提出書類は、審査における基礎資料となることから、具体的な内容を記載するとともに、記入漏れや誤字脱字、文字切れ等のないようにご注意ください。

※申請書類の不備や不明な点がある場合には、事務局から問い合わせをする場合があります。申請担当者は、必ず手元に控えをお取りください。一度申請を受け付けた提出書類は返却しません。

８．その他

（１）個別相談について

申請に際し事前に相談を希望される場合は、事前に振興会担当あてにお電話等でお申し込みください。なお、申請締切日近くは時間の確保が難しいため、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

（２）募集にあたっての留意点

本事業は、沖縄県からの補助金を受けて実施する事業であり、本公募は当該補助金交付決定の事前準備手続きです。そのため、本事業に関する当該補助金が交付されない場合には、事業が実施されない可能性があるほか、公演予定や予算等の事業内容について変更することがありますので、その旨ご了承の上申請してください。

# かりゆし芸能公演 「国立劇場おきなわ公演」　募集要項

1．目的

「国立劇場おきなわ公演」は、県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに、若手実演家の育成を図ることを目的に県内の文化団体が国立劇場おきなわ（小劇場）で実施する公演を補助します。

2．募集する公演分野

琉球舞踊、八重山舞踊、三線等音楽、沖縄民俗芸能、組踊、沖縄芝居

3．公演会場

国立劇場おきなわ小劇場（255 席）

4．申請の方法、公演日程等

かりゆし芸能公演（国立劇場おきなわ公演）として、14 回程度開催します。

別紙（P.9）に記載の日程のうち、様式第 1 号（補助金交付申請書）の公演希望日欄に、必ず第 3 希望まで記載してください。なお、公演希望日が複数団体で重複した場合、また劇場の予約状況により、別途調整する場合があります。

5．補助対象事業の要件

補助の対象となるのは、以下の要件を全て満たす事業です。

（1）国立劇場おきなわ（小劇場）で公演を実施すること

（2）出演者の 5 割以上を若手（40 歳以下）で構成すること

（3）県内新聞社が主催する審査およびコンクールがある分野の公演においては、原則出演者の全員が、新人賞以上の賞歴があること　※子役等についてはその限りではありません

（4）伝統芸能公演を初めて鑑賞する観光客や一般県民向けにプログラム構成等を工夫すること
例：演目解説者を入れる・演出的な工夫や伝統を踏まえた新しい取り組みを行う等

（5）沖縄芝居および組踊公演には、原則字幕を用意すること

（6）補助対象となる事業が、沖縄県および県内市町村の「沖縄振興一括交付金」を含む国、県、市町村および公的財団などからの助成金または補助金を受けていないこと

6．補助金額の上限

補助金額は対象経費から収入等を差し引いた額で、公演区分ごとに以下に定める額が上限となります。

①琉球舞踊・八重山舞踊・三線等音楽・沖縄民俗芸能　・・・上限 40 万円

②組踊　・・・上限 55 万円

③沖縄芝居　・・・上限 75 万円

7．公演の概要

（1）チケット料金について

公演にかかるチケット料金については、以下のとおりとします。

①琉球舞踊、八重山舞踊、三線等音楽、沖縄民俗芸能、組踊

一般　　2,000 円（当日 2,500 円）

高校生以下　1,000 円（当日 1,500 円）

②沖縄芝居

一般　　2,500 円（当日 3,000 円）

高校生以下　1,500 円（当日 2,000 円）

※未就学児は、膝上での鑑賞に限り無料とします。

※各種障がい者手帳をお持ちの方および同伴者 1 名までは、障がい者割引としてチケット料金をお一人当たり 2 割引で販売することとします。

※チケットは国立劇場おきなわ小劇場の席数分（255 席）を上限に作成してください。客席の上限を超える入場者があった場合、チケット代金の払い戻しなど、公演団体に対応いただく場合があります。

※国立劇場おきなわのチケットカウンターで、チケットの販売を行ってください。

※一部チケットの WEB 販売を導入する予定です。

（2）会場の使用時間について

リハーサル、公演本番日いずれも、会場の使用時間は午後夜間（13：00~21：30）となります。

※楽屋を含め、21：30 までに必ず退館してください。

（3）公演時間について

開場 18：30　開演 19：00

※公演時間は、休憩時間を含め 90 分以内となるよう演目等を設定してください。

8．その他

（1）振興会が負担する経費について

リハーサルおよび本番当日の国立劇場おきなわ小劇場の会場使用料は振興会が負担します。

※舞台等の施設や設備の使用に最低限必要な業務に協力する職員の人件費、楽屋などの劇場付帯設備の使用料、光熱費を含みます。

ただし、以下のような場合に発生する経費については、申請団体の負担となります。

・退館の遅れ等による楽屋等の延長料金

・演出等の工夫により国立劇場おきなわが提供できる限度を超え、職員の増員が必要となった場合の職員人件費

・リハーサル・本番日に楽屋として使用する稽古場使用料等

※いずれも、補助対象経費として計上可能です。

（２）補助対象経費、補助対象外経費の内訳は、本手引き P.14 を参照してください。その他、ご不明な点は振興会担当あてにお問い合わせください。

（３）実績確認のため、振興会あてにチケットを５枚ご恵与ください。

（４）公に開かれた事業となるよう、事業広報に努めてください。

（５）公演当日、来場者を対象としたアンケートを実施します。当日までに指定様式のアンケートおよびクリップペンシルをご用意いただき、折り込み作業や配布、回収作業にご協力をお願いします。

※アンケートの印刷費用（印刷製本費)、クリップペンシルの購入費（消耗品費）は補助対象経費として計上可能です。

別紙（公演実施の候補日一覧）

| No. | 西暦 | 月 | リハーサル日 | 公演日 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2020 年 | 6 月 | 4 日（木） | 5 日（金） |
| 2 | | | 11 日（木） | 12 日（金） |
| 3 | | | 18 日（木） | 19 日（金） |
| 4 | | | 25 日（木） | 26 日（金） |
| 5 | | 7 月 | 2 日（木） | 3 日（金） |
| 6 | | | 16 日（木） | 17 日（金） |
| 7 | | | 30 日（木） | 31 日（金） |
| 8 | | 8 月 | 6 日（木） | 7 日（金） |
| 9 | | | 13 日（木） | 14 日（金） |
| 10 | | 9 月 | 17 日（木） | 18 日（金） |
| 11 | | 10 月 | 1 日（木） | 2 日（金） |
| 12 | | | 8 日（木） | 9 日（金） |
| 13 | | | 15 日（木） | 16 日（金） |
| 14 | | | 22 日（木） | 23 日（金） |
| 15 | | | 29 日（木） | 30 日（金） |
| 16 | | 11 月 | 5 日（木） | 6 日（金） |
| 17 | | | 12 日（木） | 13 日（金） |
| 18 | | | 19 日（木） | 20 日（金） |
| 19 | | | 26 日（木） | 27 日（金） |
| 20 | | 12 月 | 3 日（木） | 4 日（金） |
| 21 | | | 10 日（木） | 11 日（金） |
| 22 | | | 17 日（木） | 18 日（金） |
| 23 | 2021 年 | 1 月 | 7 日（木） | 8 日（金） |
| 24 | | | 14 日（木） | 15 日（金） |
| 25 | | | 21 日（木） | 22 日（金） |
| 26 | | | 28 日（木） | 29 日（金） |

※リハーサル日、本番日いずれも、会場の使用時間は午後夜間（13：00～21：30）となります。

# かりゆし芸能公演 「移動かりゆし芸能公演」　募集要項

１．目的

「移動かりゆし芸能公演」は、県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに、若手実演家の育成を図ることを目的に、県内の文化団体が原則国立劇場おきなわ以外を公演会場として実施する公演を補助します。

２．募集する公演分野

琉球舞踊、八重山舞踊、三線等音楽、沖縄民俗芸能、組踊、沖縄芝居

３．公演会場

申請団体が選択できます。（ただし、沖縄県内で実施される公演に限ります。）会場の選定にあたっては使用条件など会場提供者と充分確認の上、申請者が事業の主催者として責任を持って会場の確保を行ってください。

４．公演日程等

2020 年 6 月 1 日～2021 年 2 月 28 日の期間内に、沖縄県内で実施される公演に限ります。

５．申請方法

公演を希望する会場、公演日程を、様式第 1 号（補助金交付申請書）の公演希望日欄に記載し、申請してください。

６．補助対象事業の要件

補助の対象となるのは、以下の要件を全て満たす事業です。

（１）沖縄県内で実施される伝統芸能の公演であること（原則国立劇場おきなわ以外を公演会場とする）

（２）「移動かりゆし芸能公演」においては、公演会場および公演日を申請団体が決定すること

（３）出演者の 5 割以上を若手（40 歳以下）で構成すること

（４）県内新聞社が主催する審査およびコンクールがある分野の公演においては、原則出演者の全員が、新人賞以上の賞歴があること　※子役等についてはその限りではありません

（５）伝統芸能公演を初めて鑑賞する観光客や一般県民向けにプログラム構成等を工夫すること
例：演目解説者を入れる・演出的な工夫や伝統を踏まえた新しい取り組みを行う等

（６）沖縄芝居および組踊公演には、原則字幕を用意すること

（７）補助対象となる事業が、「沖縄振興一括交付金」を含む国、県からの助成金または補助金を受けていないこと

7．補助金額の上限

補助金額は対象経費から収入等を差し引いた額で、公演区分ごとに以下に定める額が上限となります。

①琉球舞踊・八重山舞踊・三線等音楽・沖縄民俗芸能　・・・上限 50 万円

②組踊　・・・上限 65 万円

③沖縄芝居　・・・上限 85 万円

8．公演の概要について

（1）チケット料金について

公演にかかるチケット等は原則有料とし、料金設定については公演実施団体の決定によります。収支予算等を十分検討の上、料金を設定してください。

※一部チケットの WEB 販売を導入する予定です。

（2）公演時間について

公演時間は、休憩時間を含めて 90 分程度となるよう演目等を設定してください。

9．その他

（1）公演の主催者は申請団体とし、公演会場使用料は申請団体の負担とします。なお、会場使用料は補助対象経費として計上可能です。

（2）公演実施にあたっては、公演実施会場および振興会担当者と随時調整を図る等、密に連携を図ってください。

（3）補助対象経費、補助対象外経費は、本手引き P.14 を参照してください。

（4）実績確認のため振興会あてにチケットのご恵与をお願いする場合があります。

（5）公に開かれた事業となるよう、事業広報に努めてください。

（6）公演当日、来場者を対象としたアンケートを実施します。当日までに指定様式のアンケートおよびクリップペンシルをご用意いただき、折り込み作業や配布、回収作業にご協力をお願いします。

※アンケートの印刷費用（印刷製本費）、クリップペンシルの購入費（消耗品費）は補助対象経費として計上可能です。

# かりゆし芸能公演 「子ども×伝統芸能公演」　募集要項

１．目的

「子ども×伝統芸能公演」は、県民及び観光客に伝統芸能の鑑賞機会を提供するほか、次世代を担う子どもたちが沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出することを目的に、沖縄県内で実施する公演を補助します。

２．募集する公演分野

琉球舞踊、八重山舞踊、三線等音楽、沖縄民俗芸能、組踊、沖縄芝居

３．公演会場

申請団体が選択できます。（ただし、沖縄県内で実施される公演に限ります。）会場の選定にあたっては使用条件など会場提供者と充分確認の上、申請者が事業の主催者として責任を持って会場の確保を行ってください。

４．公演日程等

2020 年 6 月 1 日～2021 年 2 月 28 日の期間内に、沖縄県内で実施される公演に限ります。

５．申請方法

公演を希望する会場、公演日程を、様式第 1 号（補助金交付申請書）の公演希望日欄に記載し、申請してください。

６．補助対象公演の要件

補助の対象となるのは、以下の要件を全て満たす事業です。

（１）沖縄県内で実施される、伝統芸能の公演であること

（２）「子ども×伝統芸能公演」においては、公演会場および公演日を申請団体が決定すること

（３）出演者の 2 割以上を 18 歳未満で構成すること

（４）子どもたちが、沖縄の伝統芸能に親しむことができるなど、理解促進・参加促進の取り組みがあること

例　・子どもが楽しめる伝統芸能体験ワークショップ

・鑑賞ポイントや魅力のわかりやすい説明等、見せ方に工夫のある取り組み

・即興組踊等の観客参加型の取り組み

・地域の伝統芸能などに関する講話等

（５）沖縄芝居および組踊公演には、原則字幕を用意すること

（６）補助対象となる事業が、「沖縄振興一括交付金」を含む国、県からの助成金または補助金を受けていないこと

7．補助金額の上限

補助金額は対象経費から収入等を差し引いた額で、公演区分ごとに以下に定める額が上限となります。

①琉球舞踊・八重山舞踊・三線等音楽・沖縄民俗芸能　・・・上限 50 万円

②組踊　・・・上限 65 万円

③沖縄芝居　・・・上限 85 万円

8．公演の概要について

（1） チケット料金について

公演にかかるチケット等は原則有料とし、料金設定については公演実施団体の決定によります。収支予算等を十分検討の上、料金を設定してください。

※一部チケットの WEB 販売を導入する予定です。

（2）公演時間について

公演時間は、休憩時間を含めて 90 分程度となるよう演目等を設定してください。

9．その他

（1）公演の主催者は申請団体とし、公演会場使用料は申請団体の負担とします。なお、会場使用料は補助対象経費として計上可能です。

（2）公演実施にあたっては、公演実施会場および振興会担当者と随時調整を図る等、密に連携を図ってください。

（3）補助対象経費、補助対象外経費は、本手引き P.14 を参照してください。

（4）実績確認のため振興会あてにチケットのご恵与をお願いする場合があります。

（5）公に開かれた事業となるよう、事業広報に努めてください。

（6）公演当日、来場者を対象としたアンケートを実施します。当日までに指定様式のアンケートおよびクリップペンシルをご用意いただき、折り込み作業や配布、回収作業にご協力をお願いします。

※アンケートの印刷費用（印刷製本費）、クリップペンシルの購入費（消耗品費）は補助対象経費として計上可能です。

## 補助の対象となる経費（補助対象経費）・補助対象とならない経費（補助対象外経費）

本事業の補助の対象となる経費は、下表に掲げる公演の実施に際し直接必要と認められるものに限ります。対象経費について不明な点は、担当あてにお問い合わせください。

| 区分 | 補助対象経費 | 補助対象外経費 |
|---|---|---|
| ①謝金 | 舞台監督・演出・指導者への謝金<br>出演者（立方・地謡等）・アナウンス・裏方スタッフ等への謝金 | 公演実施に直接必要と認められない経費 |
| ②賃借料<br>※ | 公演時に使用する劇場付帯設備・大道具小道具・衣装等 | 申請団体の事務所等を維持するための恒常的な経費等 |
| ③使用料 | 公演の稽古に係る稽古場使用料、リハーサル・本番日の楽屋としての稽古場使用料等 | 普段の稽古・練習に係る稽古場使用料 |
| ④印刷製本費 | チラシ・ポスター等広報物の印刷費<br>プログラム・チケット・アンケート印刷費 | 主に有料での配布を目的とする印刷物の作成費 |
| ⑤通信運搬費 | 公演実施にかかる郵送費等 | 電話・ファックス・電子メール代 |
| ⑥消耗品 | クリップペンシルの購入費等、公演実施に直接必要な消耗品の購入費<br>（一品の取得金額が３万円未満のもの） | 備品等の購入費<br>（一品の取得価格が３万円以上のもの） |
| ⑦字幕使用料 | 組踊・沖縄芝居公演については原則字幕を使用すること | 公演実施に直接必要と認められない経費 |
| ⑧広報宣伝費 | テレビ・新聞等の広告費等 | 補助事業以外の広報にかかる広報費等 |
| ⑨食糧費 | リハーサルおよび本番当日の弁当代 | 菓子飲物代、ケータリング、オードブル代等 |
| ⑩旅費・宿泊費 | 公演実施にかかる出演者等の旅行にかかる旅費宿泊費 | 公演実施に直接必要と認められない経費<br>（ファーストクラス、ビジネスクラス料金等） |
| ⑪撮影費 | 公演時の写真・映像等の撮影費用 | 公演実施に直接必要と認められない経費 |
| ⑫ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ料 | 企画制作費用等 | 公演実施に直接必要と認められない経費 |
| ⑬委託費 | チケットの委託販売にかかる経費<br>音響照明等、公演実施に必要な業務委託費 | 公演実施に直接必要と認められない経費 |
| ⑭手数料 | チケット販売手数料等 | 振込手数料 |
| ⑮その他 | | 収入印紙の購入費用<br>交際費、接待費、取材・会議・企画等打ち合わせ・打ち上げに係る経費<br>記念品・各個人への支給品、予備費等 |

※（賃借料）「国立劇場おきなわ公演」における劇場使用料は、振興会が負担します。
「移動かりゆし芸能公演」および「子ども×伝統芸能公演」における会場使用料は、申請団体の負担とします。（補助対象経費として計上可）

実績報告時に、支出を証明する証憑書類として、すべての領収書等のコピーを提出していただきます。

# 交付決定後のお願いと注意点

1．チラシ・ポスター・プログラム等印刷物への表示について

・補助を受けることが決定した公演の印刷物には、以下のロゴマーク（花笠ロゴ）および事業名（沖縄県伝統芸能公演 かりゆし芸能公演）を必ず明記してください。

・ロゴマークおよび事業名の表記がない印刷物の作成に要した経費は、補助対象経費と認められない場合があります。印刷物の制作前に、必ず事業担当者の確認を取ってください。

かりゆし芸能公演ロゴマーク：

2．事業ホームページおよび広報物への情報掲載について

・補助を受けることが決定した公演については、申請書に明記された情報を元に、振興会が設置するホームページおよび振興会が作成する広報物等に情報を掲載します。あらかじめご了承ください。

・公に開かれた公演となるよう事業広報に努めてください。

3．公演終了後の実績報告について

補助団体は、公演終了後 30 日以内または 4 月 10 日のいずれか早い日までに、次に掲げる書類を添えて振興会あてに提出してください。

（ア）補助事業実績報告書（様式第 6 号）

（イ）事業収支決算書

（ウ）支出を証明する証憑書類（領収書等）

（エ）公演実施の状況が分かる記録写真等

（オ）上記のほか、振興会が必要と認める書類

4．補助金の請求・支払いについて

振興会は、前述の実績報告書に基づき補助金の額を確定し、補助額確定通知書（様式第 7 号）により補助団体に通知します。補助団体は、確定通知書を受け取った日から起算して 10 日以内に、補助金交付請求書（様式第 8 号）を振興会あてに提出してください。なお、実際に指定先口座あてに補助金が支払われるまで 2 週間程度の時間を要します。あらかじめご承知おきください。

5．チケットの販売について

チケットの販売方法等について、振興会から指示がある場合にはご対応をお願いします。

※国立劇場おきなわを会場とする公演については、国立劇場おきなわチケットカウンターで必ずチケット販売を行ってください。

※一部チケットの WEB 販売を導入する予定です。

6．公演実施に向けて

・交付決定後、公演実施に向けた事業説明会を実施しますので、必ずご参加ください。

・公演実施に向けては、各補助団体と個別に調整を図ります。公演実施会場および振興会担当者と随時調整を図る等、密に連携を図ってください。

**本補助金を不正に受給したり使用したりする不正行為は、沖縄文化の活動全体に対する信頼を失うことになります。公的資金＝貴重な税金を使用していることを十分に理解し、社会性と倫理を持って、適正に事業を行ってください。**

Ｑ１　H30 年度までのかりゆし芸能公演から、変わったところはどこですか？

Ａ１　変更があったのは主に以下の点です。
・「移動かりゆし芸能公演」および「子ども×伝統芸能公演」として、補助メニューを拡充しました。
・補助メニューの拡充にあたり、申請の手引き(本紙)の作成および補助金交付申請書を見直しました。
・沖縄県外からの出演者旅費宿泊費を補助対象経費としました。(精算時には別途必要書類があります)

Ｑ２　３つの公演区分で補助金の上限額が異なるのはなぜですか？

Ａ２「移動かりゆし芸能公演」および「子ども×伝統芸能公演」においては、会場使用料が申請団体負担となるため、「国立劇場おきなわ公演」よりも増額した補助金額を設定しています。

Ｑ３　３つの補助メニューは同時に申請可能ですか？

Ａ３　同時に申請が可能です。ただし、申請をすれば必ず補助を受けられるものではありません。ご不明な点は担当者あてにお問い合わせください。

Ｑ４　公演場所の会場使用料は団体が負担するのですか？

Ａ４「国立劇場おきなわ公演」におけるリハーサルおよび本番当日の会場使用料は振興会が負担します。「移動かりゆし芸能公演」および「子ども×伝統芸能公演」においては、会場使用料は申請団体負担とします。ただし、本事業の補助対象経費として計上可能です。

Ｑ５　公演で使用する背景幕や舞台装置、音響機器等の付帯備品使用料は団体が負担するのですか？

Ａ５　申請団体の負担となりますが、補助対象経費として計上可能です。補助対象経費の一覧をご確認ください。

Ｑ６　衣装や小道具等の制作を行った場合、補助対象となりますか？

Ａ６　備品等の購入費は対象外となりますが、3 万円未満の消耗品は補助対象経費となります。

Ｑ７　公演の手合わせのために借りた稽古場費は補助対象となりますか？

Ａ７　補助対象となります。但し、普段の稽古であることが明らかな場合は、補助対象となりません。

Ｑ８　地区の公民館や学校の体育館などで実施する芸能公演も補助の対象となりますか？

Ａ８　補助の対象となります。詳しくは個別に担当者あてにお問い合わせください。

Ｑ９　公演会場の候補としている施設が、申請時に予約できません。

Ａ９　施設によっては事業実施月の数か月前からしか予約申請の受付ができない場合があります。各施設の申請方法を個別にご確認いただき、本事業への申請にあたっては、公演の予定会場、予定の日程を補助金交付申請書に記載してください。

様式第１号（第10条関係）

令和　　年　　月　　日

公益財団法人沖縄県文化振興会
　理事長　又吉 民人　様

住所　〒　　－

団体名
代表者　　㊞

# 令和２年度沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演）補助金交付申請書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公演分野 | 1 琉球舞踊　2 八重山舞踊　3 三線等音楽　4 沖縄民俗芸能　5 組踊　6 沖縄芝居 | | | | |
| 公演区分 | 1 国立劇場おきなわ公演 | 2 移動かりゆし芸能公演 | 3 子ども×伝統芸能公演 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 1 国立劇場おきなわ公演希望日 | 第１希望 | 年　月　日（金） |
| | 第２希望 | 年　月　日（金） |
| | 第３希望 | 年　月　日（金） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会場 | | 日程 | 年　月　日（　） |
| | | | 年　月　日（　） |
| 席数　　席 | | | 年　月　日（　） |

| | |
|---|---|
| 【プログラム】<br>演目、出演者の内容を記入してください<br><br>※出演者の一覧および、枠が足りない場合は別紙に記入して添付してください。 | 監修・指導 |
| 【 公演趣旨 】<br>（例）<br>・本補助金を受けることによって期待できる効果<br>・プログラム構成の工夫や新たな取り組み<br>申請にあたりアピールしたい点<br>・特記事項等 | |
| 【理解促進等に向けた取り組み】<br>初心者や子どもたち等が鑑賞するうえで理解促進・参加促進となる取り組み | |

| | | |
|---|---|---|
| 【公演紹介文】<br>リーフレット・広告に掲載します（80文字以内） | | |
| 担当者連絡先 | ふりがな<br>氏名 | TEL　（　　） |
| | 住所 〒　　- | FAX　（　　） |
| | | 携帯　（　　） |
| | 団体における職・担当名 | MAIL　　@ |

別表　出演者プロフィール【年齢、受賞歴等】

| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 備考<br>（立方・地謡・教師・師範・受賞歴等） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 歳 | |
| 2 | | | 歳 | |
| 3 | | | 歳 | |
| 4 | | | 歳 | |
| 5 | | | 歳 | |
| 6 | | | 歳 | |
| 7 | | | 歳 | |
| 8 | | | 歳 | |
| 9 | | | 歳 | |
| 10 | | | 歳 | |
| 11 | | | 歳 | |
| 12 | | | 歳 | |
| 13 | | | 歳 | |
| 14 | | | 歳 | |
| 15 | | | 歳 | |
| 16 | | | 歳 | |
| 17 | | | 歳 | |
| 18 | | | 歳 | |
| 19 | | | 歳 | |
| 20 | | | 歳 | |
| 21 | | | 歳 | |
| 22 | | | 歳 | |
| 23 | | | 歳 | |
| 24 | | | 歳 | |
| 25 | | | 歳 | |
| 26 | | | 歳 | |
| 27 | | | 歳 | |
| 28 | | | 歳 | |
| 29 | | | 歳 | |
| 30 | | | 歳 | |

40歳以下もしくは18歳未満の割合　　％

※小数点第一位まで記載（小数点第二位を四捨五入する）

※応募要件に沿って計算し記載して下さい。

様式第１号（第10条関係）

**「国立劇場おきなわ公演」記入例**

令和○○年○○月○○日

公益財団法人沖縄県文化振興会
理事長　又吉 民人　様

住所　〒　○○○－○○○○
○○市○○　○○番地
団体名　○○流○○会
代表者　○○　○○　㊞ 押印

※該当する欄を○で囲む

## 令和２年度沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演）補助金交付申請書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公演分野 | 1 琉球舞踊 | 2 八重山舞踊 | 3 三線等音楽 | 4 沖縄民俗芸能 | 5 組踊　6 沖縄芝居 |
| 公演区分 | 1 国立劇場おきなわ公演 | 2 移動かりゆし芸能公演 | 3 子ども×伝統芸能公演 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 1 国立劇場おきなわ公演希望日 | 第１希望 | 令和○年○○月○○日（金） |
| | 第２希望 | 令和○年○○月○○日（金） |
| | 第３希望 | 令和○年○○月○○日（金） |

募集要項の一覧から希望日を選択し記載

| | | |
|---|---|---|
| 会場 | 日程 | 年　月　日（　） |
| | | 年　月　日（　） |
| 席数　席 | | 年　月　日（　） |

| | |
|---|---|
| 【プログラム】<br>演目、出演者の内容を記入してください<br><br>※出演者の一覧および、枠が足りない場合は別紙に記入して添付してください。 | 公演名「　○○の響き　」　監修・指導　○○　○○<br>演目　出演者<br>1 古典音楽斉唱「○○○」　○○　○○・○○　○○<br>2 古典舞踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>3 独唱三題「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>4 独奏「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>5 器楽合奏「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>休憩<br>6 組踊「○○の縁」より抜粋　○○　○○・○○　○○<br>7 創作舞踊「○○○」　○○　○○・○○　○○<br>8 創作舞踊「○○○」　○○　○○・○○　○○・○○　○○・○○　○○<br>9 古典音楽斉唱「○○○」<br>公演時間　約90分 |
| 【公演趣旨】<br>（例）<br>・本補助金を受けることによって期待できる効果<br>・プログラム構成の工夫や新たな取り組み<br>申請にあたりアピールしたい点<br>・特記事項等 | ・若手育成のため○○な演目構成とし、公演本番で得られる体験を通して芸能に関心をもってもらえるよう、日々稽古に励んでいるメンバーを中心に出演するプログラムになっています。<br>・ベテランの先生方との共演機会を創出することによって、今後のお稽古に対するモチベーションアップにつなげます。 |
| 【理解促進等に向けた取り組み】<br>初心者や子どもたち等が鑑賞するうえで理解促進・参加促進となる取り組み | ・三線だけでなく琉球古典音楽に使われる楽器の紹介をプログラムにも記載します。<br>・演目ごとに内容の解説、演奏家ならではの視点で鑑賞ポイントをお伝えします。 |

| | | |
|---|---|---|
| 【公演紹介文】<br>リーフレット・広告に掲載します（80文字以内） | 楽器を始めてまだ間もない若手も、キャリアのある先輩方とともに稽古を重ねてきました。古典音楽、またそれぞれの楽器が織りなす琉球の風情を感じてください。 | |
| 担当者連絡先 | ふりがな<br>氏名　文化（ぶんか）　花子（はなこ） | TEL　（　０９８　）１２３４　５６７８ |
| | 住所 〒　○○○ - ○○○○<br>○○町○○　○○番地 | FAX　（　０９８　）３４５６　７８９０<br>携帯　（　０９０　）１２３４　５６７８ |
| | 団体における職・担当名　事務局 | MAIL　kariyushi-geino@bunka.jp |

様式第１号（第10条関係）

**「移動かりゆし芸能公演」記入例**

令和○○年○○月○○日

公益財団法人沖縄県文化振興会
理事長　又吉 民人　様

住所　〒　○○○－○○○○
○○市○○　○○番地
団体名　○○流○○会
代表者　○○　○○　㊞ 押印

**※該当する欄を○で囲む**

## 令和２年度沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演）補助金交付申請書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公演分野 | 1 琉球舞踊 | 2 八重山舞踊 | 3 三線等音楽 | 4 沖縄民俗芸能 | 5 組踊　6 沖縄芝居 |
| 公演区分 | 1 国立劇場おきなわ公演 | 2 移動かりゆし芸能公演 | 3 子ども×伝統芸能公演 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 1 国立劇場おきなわ公演希望日 | 第１希望 | 年　月　日（金） |
| | 第２希望 | 年　月　日（金） |
| | 第３希望 | 年　月　日（金） |

| | | |
|---|---|---|
| 会場 | ○○ホール | 日程 |
| 席数 | 350 席 | |

日程：令和○年○○月○○日（○）
令和○年○○月○○日（○）
令和○年○○月○○日（○）

※申請団体が公演を希望する会場、席数、公演日程（予定を含む）を記入

| | |
|---|---|
| 【プログラム】<br>演目、出演者の内容を記入してください<br><br>※出演者の一覧および、枠が足りない場合は別紙に記入して添付してください。 | 公演名「　時代人情歌劇 ○○の由来記　」　監修　指導　○○　○○<br>演目　出演者<br>1 幕開け舞踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>2 古典女踊り「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>3 打組舞踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>4 雑踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>休憩　○○　○○・○○　○○<br>5 時代人情歌劇「○○の由来記」　○○　○○・○○　○○<br>○○　○○・○○　○○<br>○○　○○・○○　○○・○○　○○・○○　○○<br>公演時間　約90分 |
| 【公演趣旨】<br>（例）<br>・本補助金を受けることによって期待できる効果<br>・プログラム構成の工夫や新たな取り組み<br>申請にあたりアピールしたい点<br>・特記事項等 | ・若手育成のため○○な演目構成とし、公演本番で得られる体験を通して芸能に関心をもってもらえるよう、日々稽古に励んでいるメンバーを中心に出演するプログラムになっています。<br>・ベテランの先生方との共演機会を創出することによって、今後のお稽古に対するモチベーションアップにつなげます。 |
| 【理解促進等に向けた取り組み】<br>初心者や子どもたち等が鑑賞するうえで理解促進・参加促進となる取り組み | ・解説者を設置し、物語のあらすじを説明します。<br>・しまくとぅばと訳の記載をしたプログラムを配布し、開演前と鑑賞後の両方で理解が出来るような仕掛けを作ります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 【公演紹介文】<br>リーフレット・広告に掲載します（80文字以内） | ○○に伝わる昔話が由来の物語「○○○」悲しくも心温まるストーリーを当会ベテランと若手のコラボで地元の方にも親しんでいただけるよう頑張ります！ | |
| 担当者連絡先 | ふりがな　ぶんか　はなこ<br>氏名　文化　花子 | TEL　（　０９８　）１２３４　５６７８ |
| | 住所 〒　○○○ - ○○○○<br>○○町○○　○○番地 | FAX　（　０９８　）３４５６　７８９０<br>携帯　（　０９０　）１２３４　５６７８ |
| | 団体における職・担当名　事務局 | MAIL　kariyushi-geino@bunka.jp |

**「国立劇場おきなわ公演」・「移動かりゆし芸能公演」　記入例**

別表　出演者プロフィール【年齢、受賞歴等】

| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 備考<br>（立方・地謡・教師・師範・受賞歴等） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○○　○○ | 女 | 14 歳 | 舞踊立方　○○流○○会 |
| 2 | ○○　○○ | 男 | 15 歳 | 舞踊立方　○○流○○会 |
| 3 | ○○　○○ | 女 | 17 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　新人賞 |
| 4 | ○○　○○ | 女 | 28 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　優秀賞 |
| 5 | ○○　○○ | 男 | 32 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　最高賞 |
| 6 | ○○　○○ | 女 | 30 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　教師 |
| 7 | ○○　○○ | 女 | 38 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　師範 |
| 8 | ○○　○○ | 女 | 43 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　師範 |
| 9 | ○○　○○ | 女 | 52 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　師範 |
| 10 | ○○　○○ | 男 | 35 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 11 | ○○　○○ | 男 | 25 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 12 | ○○　○○ | 男 | 35 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 13 | ○○　○○ | 男 | 27 歳 | 地謡　○○流○○会　教師 |
| 14 | ○○　○○ | 女 | 38 歳 | 地謡　○○流○○会　教師 |
| 15 | ○○　○○ | 男 | 20 歳 | 地謡　○○流○○会　優秀賞 |
| 16 | ○○　○○ | 男 | 46 歳 | 地謡　○○流○○会　師範 |
| 17 | ○○　○○ | 男 | 55 歳 | 地謡　○○流○○会　師範 |
| 18 | | | 歳 | |
| 19 | | | 歳 | |
| 20 | | | 歳 | |
| 21 | | | 歳 | |
| 22 | | | 歳 | |
| 23 | | | 歳 | |
| 24 | | | 歳 | |
| 25 | | | 歳 | |
| 26 | | | 歳 | |
| 27 | | | 歳 | |
| 28 | | | 歳 | |
| 29 | | | 歳 | |
| 30 | | | 歳 | |

40歳以下もしくは18歳未満の割合　76.5　%

※小数点第一位まで記載（小数点第二位を四捨五入する）

※応募要件に沿って計算し記載して下さい。

様式第１号（第10条関係）

**「子ども×伝統芸能公演」記入例**

令和○○年○○月○○日

公益財団法人沖縄県文化振興会
理事長　又吉 民人　様

住所　〒　○○○－○○○○
○○市○○　○○番地
団体名　○○流○○会
代表者　○○　○○　㊞ 押印

**※該当する欄を○で囲む**

# 令和２年度沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演）補助金交付申請書

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 公演分野 | 1 琉球舞踊 | 2 八重山舞踊 | 3 三線等音楽 | 4 沖縄民俗芸能 | 5 組踊 | 6 沖縄芝居 |
| 公演区分 | 1 国立劇場おきなわ公演 | 2 移動かりゆし芸能公演 | 3 子ども×伝統芸能公演 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 1 国立劇場おきなわ公演希望日 | 第１希望 | 年　月　日（金） |
| | 第２希望 | 年　月　日（金） |
| | 第３希望 | 年　月　日（金） |

| | | |
|---|---|---|
| 会場 ○○市民劇場 | 日程 | 令和○年○○月○○日（○） |
| | | 令和○年○○月○○日（○） |
| 席数　350　席 | | 令和○年○○月○○日（○） |

※申請団体が公演を希望する会場、席数、公演日程（予定を含む）を記入

| | | |
|---|---|---|
| 【プログラム】<br>演目、出演者の内容を記入してください<br><br>※出演者の一覧および、枠が足りない場合は別紙に記入して添付してください。 | 公演名「　○○の舞　」<br>演目　　出演者<br>1 幕開け舞踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>2 古典女踊り「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>3 二才踊り「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>4 雑踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>5 雑踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>6 打組舞踊「○○○○」　○○　○○・○○　○○<br>休憩<br>7 創作舞踊「○○○」　○○　○○・○○　○○<br>8 創作舞踊「○○○」　○○　○○・○○　○○・○○　○○・○○　○○<br>9 フィナーレ　出演者全員<br>公演時間　約90分 | 監修・指導　○○　○○ |
| 【公演趣旨】<br>（例）<br>・本補助金を受けることによって期待できる効果<br>・プログラム構成の工夫や新たな取り組み<br>申請にあたりアピールしたい点<br>・特記事項等 | ・若手育成のため○○な演目構成とし、公演本番で得られる体験を通して芸能に関心をもってもらえるよう、日々稽古に励んでいるメンバーを中心に出演するプログラムになっています。<br>・ベテランの先生方との共演機会を創出することによって、今後のお稽古に対するモチベーションアップにつなげます。 | |
| 【理解促進等に向けた取り組み】<br>初心者や子どもたち等が鑑賞するうえで理解促進・参加促進となる取り組み | ・解説者を設置し、基本的な動きや琉球舞踊の歴史を説明します。<br>・公演前後に劇場ロビーにおいて、プログラムに使う衣装や小道具の紹介、これまでの活動紹介として展示ブースを設置します。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 【公演紹介文】<br>リーフレット・広告に掲載します（80文字以内） | 当流に受け継がれる創作舞踊○○など、楽しんでいただける演目となっています。出演する最年少は○○歳！日々稽古に励んできた子どもたちの成果をご覧ください。 | |
| 担当者連絡先 | ふりがな　ぶんか　はなこ<br>氏名　文化　花子 | TEL　（　０９８　）１２３４　５６７８ |
| | 住所 〒　○○○ - ○○○○<br>○○町○○　○○番地 | FAX　（　０９８　）３４５６　７８９０<br>携帯　（　０９０　）１２３４　５６７８ |
| | 団体における職・担当名　事務局 | MAIL　kariyushi-geino@bunka.jp |

# 「子ども×伝統芸能公演」　記入例

別表　出演者プロフィール【年齢、受賞歴等】

| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 備考<br>（立方・地謡・教師・師範・受賞歴等） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○○　○○ | 女 | 14 歳 | 舞踊立方　○○流○○会 |
| 2 | ○○　○○ | 男 | 15 歳 | 舞踊立方　○○流○○会 |
| 3 | ○○　○○ | 男 | 15 歳 | 舞踊立方　○○流○○会 |
| 4 | ○○　○○ | 女 | 16 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　新人賞 |
| 5 | ○○　○○ | 女 | 17 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　新人賞 |
| 6 | ○○　○○ | 女 | 18 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　優秀賞 |
| 7 | ○○　○○ | 女 | 30 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　優秀賞 |
| 8 | ○○　○○ | 女 | 24 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　最高賞 |
| 9 | ○○　○○ | 女 | 21 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　最高賞 |
| 10 | ○○　○○ | 女 | 28 歳 | 舞踊立方　○○流○○会　教師 |
| 11 | ○○　○○ | 男 | 35 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 12 | ○○　○○ | 男 | 25 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 13 | ○○　○○ | 男 | 20 歳 | 地謡　○○流○○会　最高賞 |
| 14 | ○○　○○ | 男 | 32 歳 | 地謡　○○流○○会　教師 |
| 15 | ○○　○○ | 女 | 25 歳 | 地謡　○○流○○会　教師 |
| 16 | ○○　○○ | 男 | 19 歳 | 地謡　○○流○○会　優秀賞 |
| 17 | ○○　○○ | 男 | 42 歳 | 地謡　○○流○○会　師範 |
| 18 | | | 歳 | |
| 19 | | | 歳 | |
| 20 | | | 歳 | |
| 21 | | | 歳 | |
| 22 | | | 歳 | |
| 23 | | | 歳 | |
| 24 | | | 歳 | |
| 25 | | | 歳 | |
| 26 | | | 歳 | |
| 27 | | | 歳 | |
| 28 | | | 歳 | |
| 29 | | | 歳 | |
| 30 | | | 歳 | |

40歳以下もしくは18歳未満の割合　29.4　%

※小数点第一位まで記載（小数点第二位を四捨五入する）

※応募要件に沿って計算し記載して下さい。

（申請書添付書類）

# 収支予算書

単位：円

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 項目 | 内訳等 | 金額 | | 項目 | 内訳等 | 金額 |
| 補助対象経費 | | | | 収入 | | | |
| | 補助対象経費（A） | | 円 | | 収入計（C） | | |
| 補助対象外経費 | | | | | 伝統芸能公演補助希望額（D） | | |
| | 補助対象外経費（B） | | 円 | | 自己負担金（E） | | |
| 総額（A)＋(B） | | | 円 | 総額（C)＋(D)＋(E） | | | 円 |

※収入と支出の総額は一致すること。〔(A)＋(B)＝(C)＋(D)＋(E)〕

※「伝統芸能公演補助希望額（D）」欄については、補助対象経費(A)−収入計(C)以内の金額で、募集公演分野ごとに定められた金額が上限となること（1,000円未満切捨て1,000円単位）。

（申請書添付書類）

**「国立劇場おきなわ公演」 記入例**

# 収支予算書

単位：円

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 項目 | 内訳等 | 金額 | | 項目 | 内訳等 | 金額 |
| 補助対象経費 | 謝金 | 舞台監督 | 50,000円 | 収入 | 入場料 | 一般（前売）2,000円×180人 | 360,000円 |
| | | アナウンス | 30,000円 | | | 高校生以下（前売）1,000円×5人 | 5,000円 |
| | | 地謡　20,000円×15名 | 300,000円 | | | 一般（当日）2,500円×1人 | 2,500円 |
| | | 立方　20,000円×5名 | 100,000円 | | | | |
| | | 着付・結髪　10,000円×2名 | 20,000円 | | | | |
| | 賃借料 | 背景幕　5,000円×2枚×2回 | 20,000円 | | | | |
| | | 衣装　5,000円×5着 | 25,000円 | | | | |
| | 印刷製本費 | チラシ・プログラム制作 | 50,000円 | | | | |
| | | アンケート印刷 | 5,000円 | | | | |
| | 食糧費 | リハーサル20名分 | 7,500円 | | | | |
| | | 本番25名分 | 8,500円 | | | | |
| | 撮影費 | 写真撮影 | 20,000円 | | | | |
| | 使用料 | 稽古場　1,000円×2h×6回 | 12,000円 | | | | |
| | 消耗品 | クリップペンシル　2,000円×3箱 | 6,000円 | | | | |
| | 字幕使用料 | | 50,000円 | | | | |
| | マネジメント料 | 企画制作費 | 100,000円 | | | | |
| | 補助対象経費（A） | | 804,000円 | | 収入計（C） | | 367,500円 |
| 補助対象外経費 | 飲み物代 | | 2,500円 | | 伝統芸能公演補助希望額（D） | | 400,000円 |
| | 補助対象外経費（B） | | 2,500円 | | 自己負担金（E） | | 39,000円 |
| 総額（A）＋（B） | | | 806,500円 | 総額（C）＋（D）＋（E） | | | 806,500円 |

**分野は「三線等音楽」を想定**

※収入と支出の総額は一致すること。〔（A）＋（B）＝（C）（D）（E）〕

※「伝統芸能公演補助希望額（D）」欄については、補助対象経費(A)−収入計(C)以内の金額で、募集公演分野ごとに定められた金額が上限となること（1,000円未満切捨て1,000円単位）。

（申請書添付書類 **「移動かりゆし芸能公演」「子ども×伝統芸能公演」 記入例**

# 収支予算書

単位：円

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | | 内訳等 | 金額 | 項目 | | 内訳等 | 金額 |
| 補助対象経費 | 謝金 | 舞台監督 | 50,000円 | 収入 | 入場料 | 一般（前売）2,500円×180人 | 450,000円 |
| | | アナウンス | 30,000円 | | | 高校生以下（前売）1,500円×5人 | 7,500円 |
| | | 地謡　20,000円×7名 | 140,000円 | | | 一般（当日）3,000円×1人 | 3,000円 |
| | | 立方　20,000円×18名 | 360,000円 | | | | |
| | | 着付・結髪　15,000円×2名 | 30,000円 | | | | |
| | 賃借料 | 会場使用料 | 200,000円 | | | **分野は「沖縄芝居」を想定** | |
| | | 背景幕　5,000円×3枚×2回 | 30,000円 | | | | |
| | | 衣装　5,000円×8着 | 40,000円 | | | | |
| | 印刷製本費 | チラシ・プログラム制作 | 90,000円 | | | | |
| | | アンケート印刷 | 5,000円 | | | | |
| | 食糧費 | リハーサル20名分 | 8,500円 | | | | |
| | | 本番30名分 | 11,500円 | | | | |
| | 撮影費 | 写真撮影 | 25,000円 | | | | |
| | | ビデオ | 40,000円 | | | | |
| | 使用料 | 稽古場　1,000円×2h×6回 | 12,000円 | | | | |
| | 消耗品 | クリップペンシル　2,000円×3箱 | 6,000円 | | | | |
| | 字幕使用料 | | 150,000円 | | | | |
| | マネジメント料 | 企画制作費 | 50,000円 | | | | |
| | 補助対象経費（A） | | 1,278,000円 | | 収入計（C） | | 460,500円 |
| 補助対象外経費 | 飲み物代 | | 3,500円 | | 伝統芸能公演補助希望額（D） | | 800,000円 |
| | 補助対象外経費（B） | | 3,500円 | | 自己負担金（E） | | 21,000円 |
| 総額（A）＋（B） | | | 1,281,500円 | 総額（C）＋（D）＋（E） | | | 1,281,500円 |

※収入と支出の総額は一致すること。〔（A）＋（B）＝（C）（D）（E）〕

※「伝統芸能公演補助希望額（D）」欄については、補助対象経費(A)−収入計(C)以内の金額で、募集公演分野ごとに定められた金額が上限となること（1,000円未満切捨て1,000円単位）。

令和　　年　　月現在

（申請書添付書類）

# 団 体 概 要 書

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | ふりがな | |
| 団体名 | | 代表者名 | |
| 所在地 | 〒 | 設立年月日 | |

| | | |
|---|---|---|
| 組織 | 設立目的 | |
| | 組織体制（家元・会主・師範名・事務担当者等） | 会員数<br>計　　人 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 組織の沿革 | 年月日 | 内容 | 年月日 | 内容 |
| | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 団体の活動歴等 | 団体の紹介 | | | |
| | | | | |
| | 公演実績 | | | |
| | 年月日 | 公演名・公演会場・動員数 | 年月日 | 公演名・公演会場・動員数 |
| | | | | |

※団体の会則、規約等がありましたら提出書類に添付してください。

※枠が足りない場合は、別紙に記入して添付してください。

＜記入例＞

令和　　年　　月現在

（申請書添付書類）

# 団 体 概 要 書

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふりがな | ○○りゅう○○かい | ふりがな | ○○　○○ |
| 団体名 | ○○流○○会 | 代表者名 | ○○　○○ |
| 所在地 | 〒○○○-○○○○<br>○○市○○○○ | 成立年月日 | ○○年○○月○○日 |

| | | |
|---|---|---|
| 組織 | 設立目的<br><br>○○を目的に設立 | |
| | 組織体制（家元・会主・師範名等）<br><br>家元／○○　○○<br>会主／○○　○○、○○　○○<br>師範／○○　○○、○○　○○、○○　○○ | 会員数<br><br>計　○○　人 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 組織の沿革 | 年月日 | 内容 | 年月日 | 内容 |
| | ○○年<br>○○年 | ○○発足<br>○○道場開設 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 団体の活動歴等 | 団体の紹介 | | | |
| | ○○の鍛錬を積み重ね、○○を特徴とした○○を会の持ち味としています。 | | | |
| | 公演実績 | | | |
| | 年月日 | 公演名・公演会場・動員数 | 年月日 | 公演名・公演会場・動員数 |
| | ○○年<br>○○年 | ○○公演（会場：○○、動員数：○○名）<br>○○公演（会場：○○、動員数：○○名） | | |

※団体の会則、規約等がありましたら提出書類に添付してください。

※枠が足りない場合は、別紙に記入して添付してください。